

高野山真言宗
紫雲山菩提院
西光寺

四国三十三観音霊場
第2番札所
百八観音霊場
第41番札所

紫雲閣

題字 先住興源僧正筆

〒771-1702
徳島県阿波市
阿波町稲荷53
TEL 0883-35-2784
ホームページ
<https://saikouji.tokushima.jp>
発行所 西光寺
発行人 澤 善弘



益田池碑銘并序(ますだいけのひめいならびにじよ)
重要文化財 平安時代 高野山 釈迦文院蔵



風信帖(ふうしんじょう)
国宝 平安時代 京都 教王護国寺(東寺)蔵

新連載 空海の書について



書家 蒼空 田村誠次

の宗派に関する著書を残した人物はいませんが、空海には他の宗派の祖師と比べた時、その範囲と質量は次元を異にしています。空海が残した著書には宗教と直接関係のない幅広い分野に亘る彼の深い教養が顕著に残されているのです。その範囲は土木、建築、医療、教育、学芸等、多方面にわたります。そしてそのレベルは今日も各界の学者が最高評価する程素晴らしいものです。

この超人的能力を持つ空海ですが、その書が日本書道史上最高の書であることも多くの日本人が知るところです。

しかし、残念な事に「空海が書の名人」と知っていても、空海の書がどのようなものか見た事がない人が多いのではないのでしょうか。

そこで是非共、空海の書がどんなものかを皆さんにご覧頂きたく、本誌の貴重な紙面を拝借し、私の拙い解説と併せて紹介させて頂きます。

真言密教を中国から日本に伝来した空海(七七四〜八三五)。昔から「大師は弘法にとられ」と言う言葉が伝わっている程、真に大師として日本人の尊敬を集めてきたのが弘法大師空海です。他の祖師達は、その宗派に属する人達の間においてのみ尊敬されてきましたが、宗派を超えて多くの日本人から尊敬されてきたのが空海です。その空海には、様々な弘法大師伝説が全国津々浦々において今日まで伝わって来ましたが、空海の偉大さは単に伝説の上だけでなく、残された多くの著書がその偉大さを物語っています。勿論、他宗の祖師の中にも自身

「おはか参り」

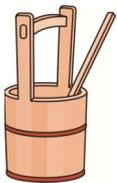
大俣小学校 4年 日岡颯太

おはか参りに持って行く物は、線香と米と、おばあちゃんが作ったおいしいおだんごとしきびです。親せきのおじさんが、自分で育てたしきびを持って来てくれます。花立ての水を入れかえるのは、ぼくの仕事です。般若心経は、おばあちゃんがとなえます。とてもむずかしいけれどぼくも、おぼえたいです。おばあちゃんは、最後にごせんぞ様のくようと感しゃ、子そんのはんえいを願った言葉を言います。ぼくは、この言葉が大好きです。なぜなら、家族みんなの幸せを考えていることがよく分かるからです。

おぼんには、親せきがたくさん帰って来ます。旅行に行くならもつと楽しい所があると思います。だけどみんな、ぼくの家に来ます。なぜなら、電話やラインではなくて、顔をあわせていろいろな話や、なやみを相談することが、大切だからです。だから毎年集まります。

ぼくの家のおはかは、とても古いです。ひいおじいちゃんが作っておじいちゃんが、場所をうつしたりしました。ごせんぞ様が大切にしてきた、おはかをこれからもぼくたちが守っていかうと思います。そして、家族の絆を深めていきたいと思っています。

(日岡さんは現在5年生です)



供養の話

阿波市の広報誌『広報あわ3月号』にて素晴らしいご文章に出会いました。心から感激致しましたので、檀信徒のみならずにもご紹介させていただきます。

ご本人さま、ご家族をはじめ、各関係者の皆さま、当紙面への掲載をご快諾くださり、ありがとうございます。





会員募集中です。一度、ご見学ください。



四国大会での奉納

般若心経 書の集い

〈開催〉

月1回 第1土曜日

午後1時30分より

2時間程度

※1、8月はお休み

〈場所〉西光寺本堂

〈参加費〉1千円/1回

〈講師〉

田村誠次(蒼空)先生

ご詠歌教室 歌ぼさつの会

〈開催〉

月2回 水曜夜

夏季 午後7時00分より

冬季 午後6時30分より

※1、8月はお休み

〈場所〉西光寺本堂

〈互助会費〉1千円/月

〈講師〉

住職 澤 善弘

お墓参りの 功德とは？

ある日、お寺の墓地で額に汗をかきながら、一心に拝んでいる女性を見つきました。日頃からご先祖さまを大切になさるAさんでした。お経本を両手で高く持って、「かんじーさいぼーさーぎようじん！」声を張って懸命に般若心経をお唱えされておられました。

お墓でお経を唱える方々、これまでお目にかかったことがなく、新鮮に感じるとともに、ハッとさせられました。

「気持ちのよいお勤めでしたね。」と声をおかけしますと、「お経は上手に読めませんけれど、仏さまに通じると思っています。」と恥ずかしそうに仰られ、ひとときの間、お話をさせていただきました。

僧侶の修行のひとつに托鉢行(たくはつぎょう)があります。僧侶が民家の玄関や駅前などでお経をあげますと、そのお宅の方や、駅前を通る方々が施しの行を積まれるというものです。

人々の心中の仏心(ぶつしん)・仏さまのような生き方をしたいという心(こころ)を目覚めさせることが托鉢行の目的です。

お墓参りも托鉢行と同じ一面があるのではないのでしょうか。お墓参りの後は、心がスッキリ、前向きになり、気持ちが良いものです。これは自分自身が感じる機能です。

一方、他者への機能を考えます。お墓の前で手を合わせ一心に拜まれる姿は、どなたであつても美しいものです。ひとたび拝見したならば、「長く両親の墓前に参っていないな、私もお花を供えに行こうかな。」

とお墓参りの連鎖が起ります。

タスキを繋がれたご先祖さまへの感謝、だからこそ今を怠らない誓い、そして未来への供養。仏心の根つこと言えます。

誰かがお墓参りをする風景が、忙しい毎日の中で奥にしまい込んだ「仏心」を揺さぶるのです。私たちは、盆・彼岸・正月等にこの善行を自然と行います。ここに日本人の高尚さを感じます。

最近、私が密かに注目しているのは、皆さんがお墓のお掃除をした後の合掌の長さです。

般若心経や光明真言を唱えることで、ご先祖さまや諸霊が喜ばれるだけではなく、お墓での滞在時間が長くなります。

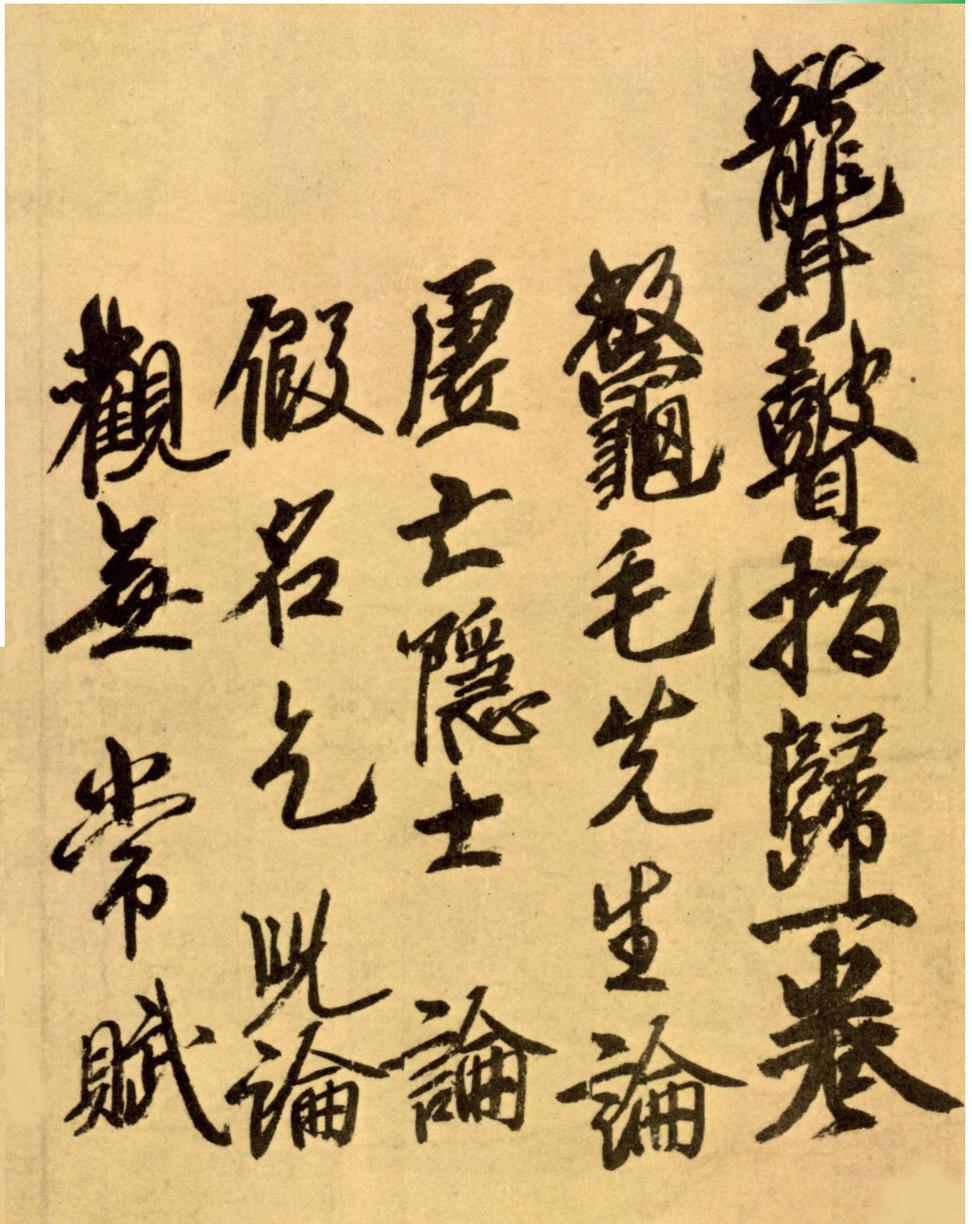
皆さまも「仏心を揺るがす震源地」となつてみては如何でしょうか。

《空海の書蹟》

空海の書と伝えられるものは多数あります。弘法大師としての空海は余りにも有名であり、能書の誉れ(ほまれ)高く、伝来の書があれば「これはお大師さんの書」として価値を高めたいとの思いもあつて「空海筆」とされ伝来して来ました。

その書が真筆か否かに関して、今尚、専門家の間でも見解が分かれたままのものがあり、それらは「伝空海」として紹介されています。

そんな中、この紙面では、空海筆とされている書を若年のものから順に真偽の論も含め、ご一緒に見て参ります。掲載する空海の書の姿を見ながら「空海の書」がどのようなものであつたかをご自身の眼でイメージして頂ければと思います。



ろうこしいき
龍尊指帰

国宝 延暦十六年(七九七)

高野山 金剛峯寺蔵

紙本 二巻

28.3 × 卷上 1011 卷下 1176 cm

「聾(ろう)」の拡大



この題名の意味は「教えに暗く、聞く耳を持たない者にも教えを示す」と言う意味である。空海二十四歳の書と伝えられる真筆で「三教指帰」(さんごうしいき)の草稿と言われている。

「空海の風景」を著した司馬遼太郎はその中で聾尊指帰は彼が大学で学び始めた十八歳の時に書き、二十四歳の時、修正を加えたものであるとしている。戯曲形式に書いたこの文の趣旨は儒教、道教、仏教のうち、仏教のみが人生の生死について教え示しており、仏教こそが他の二教の及び得ない最高の人生指針と結論付けている。

しかし、空海は三教の優劣批判に際して儒教、道教を排斥する態度を取らず、それぞれの特色を尊重し、仏教に包摂する事によって、それら二教を活かすことに努めている。この事を知った時、

各文字の拡大



私は空海という人物の並外れた懐の広さ偉大さに感服する。

さて、この雄渾な書には中国書道史上で書聖と呼ばれる王羲之（おうぎし）〔303～361〕の書法の影響が見られるところから、既に将来さわれていた王羲之の書法に接する機会が、空海にはあったと思える。だが、空海という人物は余りにも大きく、かつ個性的であって、その書は王羲之風の温雅清澄な貴族的枠の中に納まり得るものではなかった。

元来、書という芸術は書いた人の人物が最も顕著に表れる芸術とされるが、聾瞽指帰を鑑賞しているのと覇気が溢れ出さんばかりの若々しい筆力、ものに動じないおおらかなさを感じ取れ、生き生きした一字一字が狭い紙面から躍り出て来そうな躍動感が見る者に迫ってくる。

しかしながら空海の後年の書と比較した時、内から湧き出るものを聾瞽指帰から窺う事は余り出来ない。その点は如何に空海といえども若さゆえ致し方ない事である。

何故なら、書とは読むことを目的とする単なる文字でなく、書の中には書いた人の人間がそのまま収まっているだけに、空海程の人物であっても人間としての内面を豊かにするための歳月が必要であった。

ここに紹介する聾瞽指帰は空海書の出発点であると共に、真言密教の開祖となる空海が仏の道に分け入る第一歩でもあった。



うれしくなる 地域のニュース

今春、阿波町四歩一所在、通称「大御戸（おみど）」にて、伊勢自治会の皆さまのご尽力により一大整備事業が成し遂げられました。

以前は、雑木が巨大化し、地域の精神的拠り所である神さまのお堂や、光明真言百萬遍供養塔などが、樹の根の成長により土台が浮き、傾いてしまっておりました。

歴代自治会長さまの代から議論を重ねてこられました。大樹の伐採が出来ずに計画は頓挫しておりました。しかし、この度、現自治会長さまを中心に有志の皆さまが立ち上がり、再びプロジェクトは動き出しました。

大御戸の歴史を紐解くことから始まり、賀茂神社宮司さまをお迎えし

祝詞のご奏上を賜わり、大樹伐採の許しを乞うとともに、工事の無事を祈る神事を営みました。

工事は順調に進められ当日、自治会の皆さまと住職が、開眼法要を営み

心を合わせて般若心経等をお唱えし、めでたく無魔成満を迎えました。

地域の信仰の源泉として、未永く拝み、護られていくことを思い、嬉しく感じていきます。



伊勢自治会の皆さまと
(右)光明真言百萬遍供養塔
(左)庚申塔

庚申さまとは？

この度、大御戸北側の道路で倒れたままになっていた、庚申塔（こうしんとう）を起してこの場所に勧請、おまつりすることにになりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の最中、庚申さまを拜む機会をいただいたことは、誠に不思議なタイミングであると感じております。そこで、庚申さまのお話をさせていただきます。

巷では、疫病を予言した妖怪、アマビエが人気です。目に見えないウイルスの脅威に、マスク、お酒など様々な商品にアマビエを描いては、そのご利益にあやかりようとしています。

江戸時代後期の瓦版に類する刷り物に、記載が残っています。

熊本の浜辺に、毎晩光り物が見られる知らせを受け、役人が向かったところ、アマビエと名乗るものが出現。疫病の流行を予言し、解決には自ら



の絵を描いて人々に見せるよう告げ、海の中へと帰って行った、と記録されています。

さて、密教（真言宗）には、青面金剛（しょうめんこんこう）という仏さまがおられます。大力の明王で、この尊を拜めば、多くの治病の機能があるときれますが、特に伝死病（でんじびょう）つまり肺結核の治癒に効果てきめんである、と經典に説かれています。

また、ある口伝には、「庚申の日には帝釈より使いを下して、衆生の善悪を行ずるを檢知せしめ一々帝釈に帰り告ぐ。その使いは青面金剛なり。故に青面金剛、庚申の日下る故に、世に庚申と云う」とあります。

古来より、庚申の夜に眠ると、私たちの日頃の悪行を天帝に密告され、罰せられる（寿命を奪われる）という信仰があり

ます。60日毎に巡ってくる庚申の日、人々は徹夜で過ごしました。

その「庚申待ち」の本尊として信仰されるようになったのが、青面金剛であり、庚申さまと団体説が生まれました。

肺病の治癒にご利益がある庚申さま（青面金剛）は今、アマビエと共に密かに注目を集めようとしております。

この度、整備された大御戸は、お寺より北へ約90mの地点です。肺病をトリサル庚申さまに一度お参りください。

現代に息づく 庚申さま信仰

3月、篤信の檀家さまとの会話の一部です。

「Aさんはいつからその庚申さまを拜んでおられるのですか。」

「もう、何十年もなるわな。ここの庚申さまは特別やと思いつつ、お頼みごとをしたら必ず解決の方に導いて下さるんですよ。ほんまに不思議な庚申さまです。小さい頃から喘息もちで、少し症状が出よつたんじゃけど、庚申さまを拜みに行くようになってからは出たことがない。」

「それは有難い庚申さまですね。どちらに祀られているのですか。」

「I沢交番の東しゃての道の南側に囲いがあつてそこです。昔、庚申さまの横に大きなムクの木があつて、こまい時、近所の子供みんな、木に登つて遊んびよつたけど、誰もケガしたことない。」

「子供たちを守つてくださつていたのでですね。」

「ほなけど、道が出来る時に木は切つてしまつたんです。庚申さまも移動することになって、お坊さんが拜みにきたけど、お坊さん、拜んみよつてうしろにふつ飛ばされたらしいんじゃ。」

「えつ、飛ばされたのですか(笑) 凄いパワーをお持ちなのですね。」

「うん。ホンマに不思議な庚申さまじゃ。家の悩みごとや健康で元気に仕事が出来ますように、とかは必ず聞いてくれる。お金が入るように、の願いはあかんけどな(笑) ほかわり、拜むときは頭を地面にこする着けるように拜んみよんでよ。後ろに車がよう通るけん、若い時は恥ずかしかったけど、今はもう慣れたでわ。」

「きつとAさんの真心が庚申さまに通じているのでしょうね。」



西光寺に伝わる庚申さま



大御戸の庚申さま

編集後記

「風が最も高く上がるのは向かい風のときであり、追い風のときではない」という名言があります。逆境をチャンスに。智慧と勇気を毎朝、届けて下さります。

YouTube「朝勤ウェブ」



⇒読み込んでください

視聴方法 毎朝7時

天野こうゆう師 法話チャンネル

お寺の行事予定

8月盆 初盆お参り

8月15日 午後7時〜 仏送り護摩供(先祖供養)

11月21日 午後4時〜 弘法大師御影供 (お大師さまへ感謝の法会)

12月31日 午後10時〜 納め護摩供 大みそか除夜の鐘

毎月 ○第2土曜日 昼

般若心経 書の集い(写経) ○第2・4水曜日 夜 歌菩薩の会(詠歌教室)

仏壇・仏具・神具・墓石・石材工事

ぶつだんのもり

お問合わせ、ご注文は

☎(0883)36-1115

〒776-0001 吉野川市鴨島町 牛島字四ツ屋90-1(かもじま店)



メガネ・補聴器・宝石・時計

ジュエリー サトウ

あなたの快適ライフを応援します。

阿波町大原11-1

☎(0883)35-2306



料理

魚安

営業日/ 月~日曜日

定休日/ 火曜日

営業時間/ 夜.17:00~

阿波町庚申原121

☎(0883)35-7260

各宗派葬儀・御法要・花環・簞盛等

セレモニーはやし

阿波町丸山3-2

☎ (0883)35-2073

FAX (0883) 35-2736

セレモニーホール

マルミヤ

(会館葬儀・自宅葬儀・寝台車・花輪)

市場町山野上字大西181-1

☎ (0883)36-7111

FAX (0883) 36-7035

第66回徳島駅伝

阿波市チームに温かい応援を賜わりありがとうございます。

県下16郡市中、11位でした。

次回大会に向けて

しっかり準備して参ります!



太龍寺ロープウェイ

ロープウェイで 簡単に参拝

四国八十八カ所21番 四国八十八カ所66番

太龍寺

雲辺寺

こんぴら奥の院

四国八十八カ所85番

箸蔵寺

八栗寺



八栗ケーブルカー